

1級経理・財務管理 試験範囲

(1) 共通問題 <全試験区分共通>

マネジメント全般についての理解

- ・ 共通問題は、マネジメントに係る学術的な用語、概念または理論等に係る専門的知識を問うものではなく、マネジメント全般に係る考え方や一般常識(一般の新聞や雑誌等において日常的に目にすることのできる用語等を含む。)を問うものとする。

(2) 短文事例問題及び長文事例問題

イ. 部門長相当職として必要なマネジメントに係る実務能力 <全試験区分共通>

① 計画の策定

- ・ 企業を取り巻く外部環境並びに自社及び自部門の強み・弱みを総合的に勘案した上で、自部門における事業展開の方向性(ビジョン)を明確に設定することができる。
- ・ 全社戦略・方針からブレイク・ダウンした自部門の戦略・方針を策定し、その達成に向けた道筋を部門内に浸透させるとともに、全社的なコミットメントを得ることができる。
- ・ 自部門の戦略・方針を踏まえて、当期の部門目標を設定することができる。
- ・ 社会経済情勢や関係法令の改正動向、統括する業務領域に関する他社の動向を体系的に収集・分析し、それらを部門の制度・施策のグランド・デザインの策定・改正に反映させることができる。

② 問題点の把握、評価

- ・ 自部門の枠を超えて、大局的かつ全社最適の視点から問題点を抽出し、具体的な解決策を見出し、その実現に向けて、上位者に働きかけることができる。
- ・ 全社戦略の実現にどの程度貢献したかという観点から、自部門の成果を適正に評価・検証することができる。

③ リスクの管理

- ・ 経済・市場の予期せぬ変化への対応に係る方策を事前に構築するとともに、当該事態が発生した場合に迅速に決断・対処できる。
- ・ 事故・不祥事等の防止及び万一発生した場合の対応に係る方策を事前に構築できる。
万一、当該事態が発生した場合には、迅速に決断・対処するとともに、その発生の原因等を正確に把握・認識した上で、再発防止策を構築できる。

④ 組織・人材の管理

- ・ 部下の意欲と能力を見極め、効果的な動機づけや成長自立の支援等を行うとともに、次世代リーダーを計画的に育成することができる。

ロ. 試験区分に係る専門的知識及びその応用力 <試験区分毎>

- ・ 1級の試験範囲については、対応する2級の試験範囲(中項目)に準拠。

<経理>

I. 財務諸表

1. 会計原則
2. 損益計算書
3. 貸借対照表
4. 株主資本等変動計算書
5. キャッシュ・フロー計算書
6. 連結財務諸表

II. 会社法会計

1. 会計規定
2. 計算書類等の記載方法
3. 監査役監査
4. 監査役会監査
5. 会計監査人の監査
6. 監査委員会
7. 会計参与

III. 金融商品取引法会計

1. 金融商品取引法による企業内容開示制度
2. 金融商品取引法に基づく各種財務諸表の作成規定
3. 公認会計士監査
4. IRに関する知識

IV. 法人税

1. 企業経理における税務会計の位置付け
2. 課税所得の計算構造
3. 法人税申告書とその基本構造

V. 包括利益の表示の基準

<財務管理>

I. 資金調達・資金運用

1. 資金計画
2. 資金調達
3. 資金運用
4. 金融市場
5. 資産および企業の市場価値
6. 設備投資の財務評価
7. リスク管理

II. 原価計算

1. 標準原価計算
2. 原価の固変分解の意義
3. CVP分析
4. 直接原価計算
5. 事業部の業績測定
6. 営業費の管理
7. 業務執行的意思決定と差額原価収益分析
8. 戦略的コスト・マネジメント

III. 予算管理

1. 予算管理の意義と機能
2. 予算管理と会社組織
3. 予算の種類と体系
4. 予算編成手続
5. 各種予算の編成
6. 予算統制と予算実績差異分析

IV. 経営分析

1. 経営分析の意義
2. 分析のための経営指標
3. 問題発見と課題解決